

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No256

## 桐蔭学園小学校の探究的な学習 ーシンキングツールが教科学習と探究を繋ぐー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問  
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。  
\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

## (ご紹介)



石故裕介(いしこ ゆうすけ)

桐蔭学園小学校 副校長

東京学芸大学卒業後、2005年度より都内の私立小学校で司書教諭として勤務。2019年度より桐蔭学園小学校に司書教諭として着任し、現在は副校長として勤務。



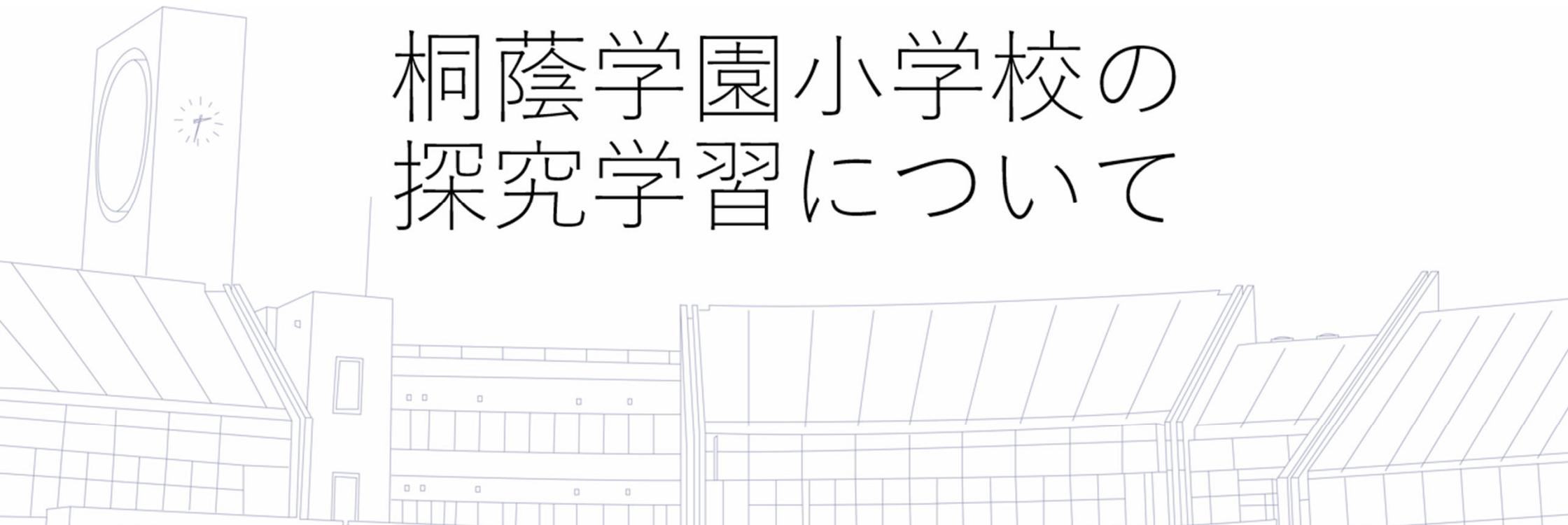
瀬山郷平(せやま きょうへい)

桐蔭学園小学校 教諭 教務主幹

東京学芸大学卒業後、2007年より都内の私立小学校で教諭として勤務。2011年度より桐蔭学園小学校に教諭として着任し、現在は教務主幹として勤務。



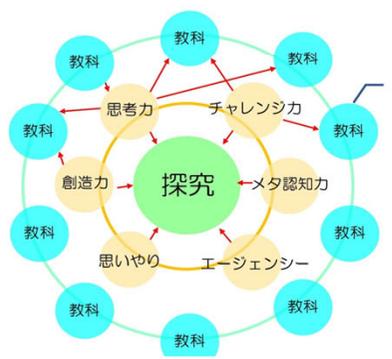
# 桐蔭学園小学校の 探究学習について



## 6つのキーコンピテンシー



## 探究型学習のイメージ図



## 6年生 探究学習の歩み

【まとめ・表現】 根拠・反論を整理⇒小論文⇒ポスター

探究学習の歩み

自分の意見・主張を小論文に書いてみよう。

序論 (はじめ)

本論 (なか)

結論 (おわり)

多文化理解は、ダンスでわかり合ふことが出来るのか?

自分自身の探究成果をポスターで発表しよう。

Number 9(桐蔭学園)

画面  
配信

# ②シンキングツールを用いた 桐蔭学園小学校の2年間の成果と課題 (公開研究会2022年2月19日実施)

うれしさもあって、  
雪景色が特別き  
感じられる。

まるで雪の

ワクワク感が

見渡す限り銀世界

ツールを利用してわき上がる子供が思考する意欲！

それではご覧ください



# 桐蔭学園小学校の 探究学習について

副校長 石故 裕介  
教務主幹 瀬山 郷平

# 総合的な学習の時間とは

総合的な学習の時間は、

変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、**自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成すること**

を目標にしている

# 探究とは

## 【課題の設定】

体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ

## 【情報の収集】

必要な情報を取り出したり収集したりする

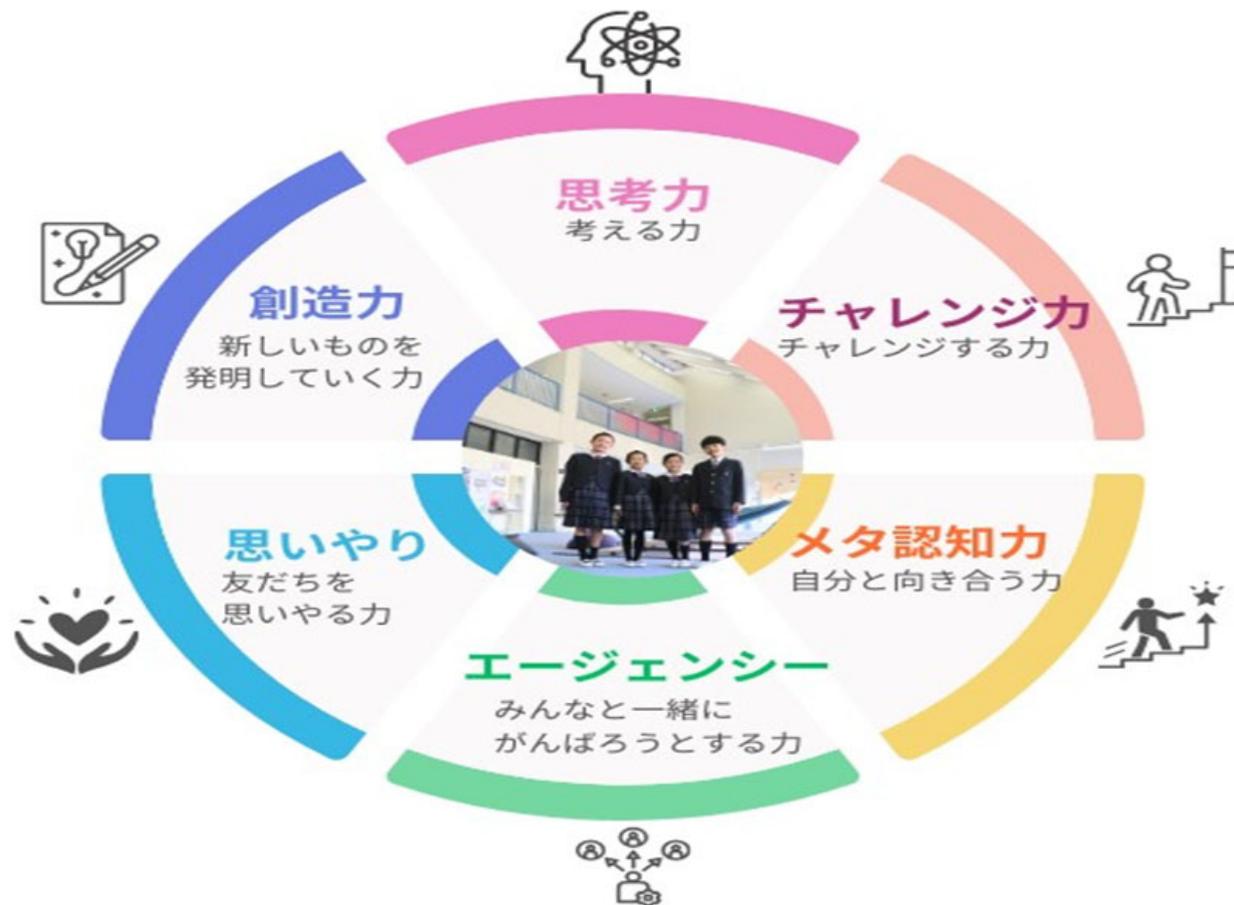
## 【整理・分析】

収集した情報を、整理したり分析したりして思考する

## 【まとめ・表現】

気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し表現する

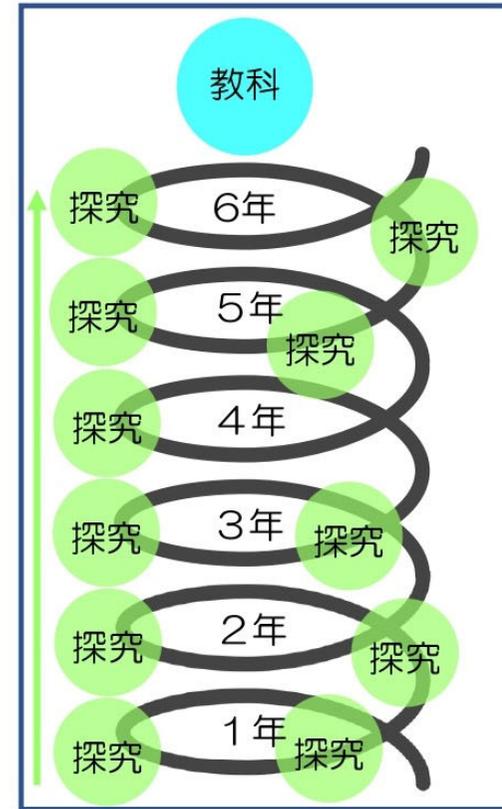
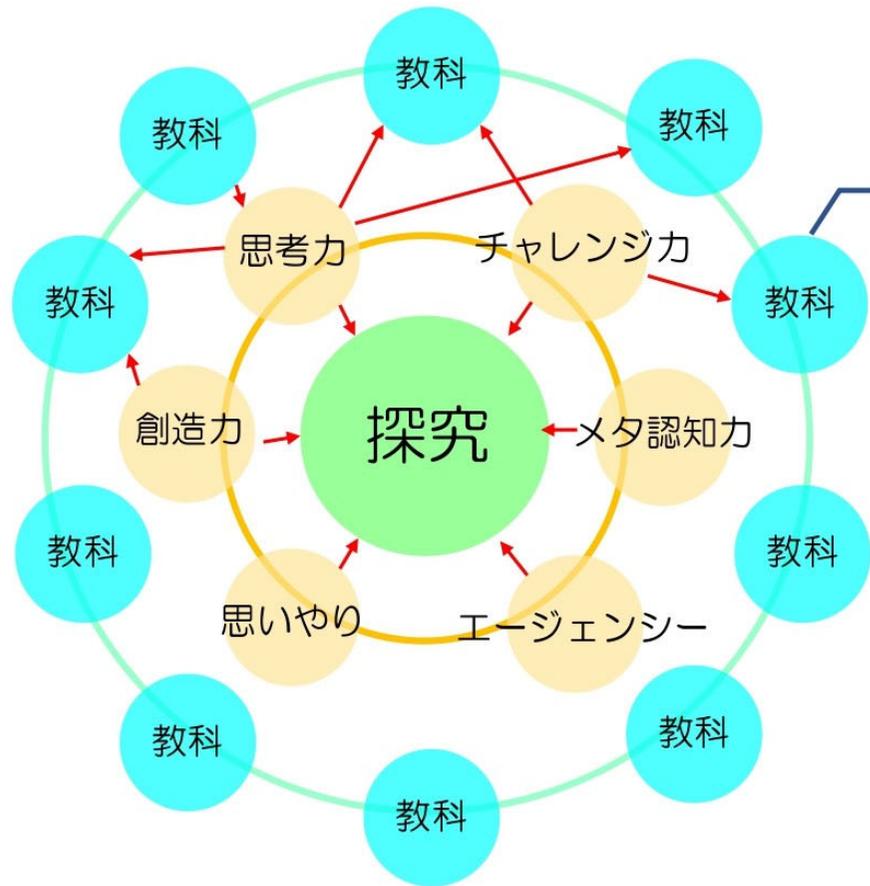
# 6つのキーコンピテンシー



# 桐蔭学園小学校の探究学習の位置づけ

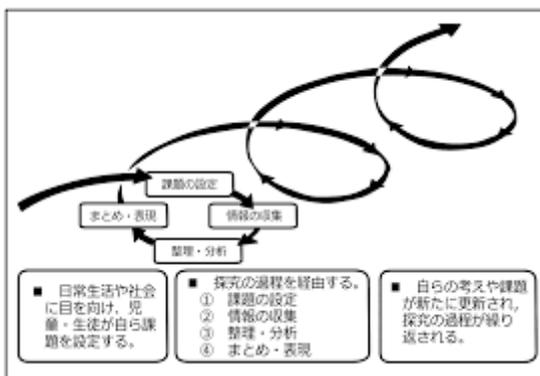
- 桐蔭学園の学びの三つの柱  
アクティブラーニング  
探究学習  
キャリア教育
- 小学校の学びの中心→探究学習  
グローバル教育、ICT教育も合わせ、小学校時代の  
学びの中心に設定し、各教科がそれを補完する。

# 探究型学習のイメージ図



# 6年生 探究学習の歩み

- ① 【課題の設定】 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ② 【情報の収集】 必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③ 【整理・分析】 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④ 【まとめ・表現】 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する』



子どもが自分事として課題を考える

社会課題について考える



# 6年生 探究学習の歩み

1学期



日台交流



鎌倉校外学習



2学期



多文化共生



自分の興味関心×多文化共生



3学期



ポスターセッション



探究学習の振り返り  
～ポートフォリオ～







# 6年生 探究学習の歩み

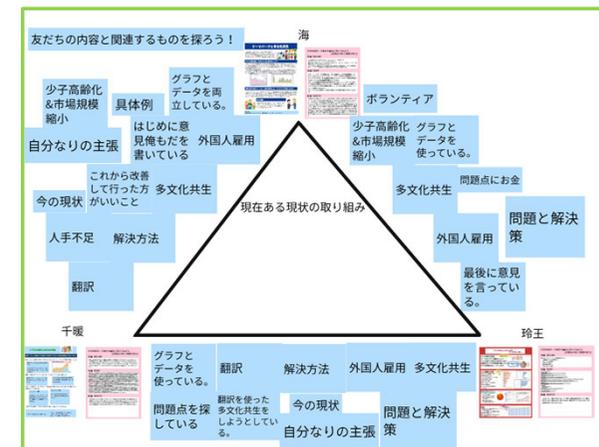
より深い学びへ(ルーブリック・関連性を探る活動など)



自分の発表の動画を撮影

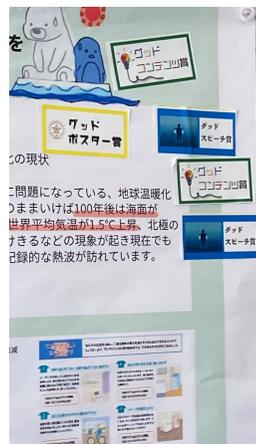
小論文チェックシート	
チェック欄(冬休みの宿題)	
<input checked="" type="checkbox"/>	自分の考え・主張が示されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	自分の考えについて、その根拠やデータが示されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	根拠やデータについて、引用先をシラバスグループにまとめてある。
<input checked="" type="checkbox"/>	想定される反論とそれに対する回答が示されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	はじめ・なか・終わりの構成になっている。
<input checked="" type="checkbox"/>	1200文字以上2000文字以内の原稿となっている。
チェック欄(1月10日)	
<input checked="" type="checkbox"/>	音楽テーマを選んだ理由、このテーマはどういったものなのか。
<input checked="" type="checkbox"/>	問題テーマに存在している問題
<input checked="" type="checkbox"/>	アイデア-問題を解決するアイデア
<input checked="" type="checkbox"/>	目的
<input checked="" type="checkbox"/>	手法→アイデアを実現するための方法
<input checked="" type="checkbox"/>	結果→アイデアが実現するとどんなことが起こるのか。メリットもデメリットも考える。
<input checked="" type="checkbox"/>	結論→自分の主張
<input checked="" type="checkbox"/>	展望→結果よりも先の未来はどうなっていくのか。

	レベル3(レベル3にほぼ応じている。最後に記入)	
ポスターについて	見出しの理解を助ける枠や色、グラフ、写真などを活用できている。	<input type="checkbox"/>
	必要な情報を簡潔、明確、目的、自分なりのアイデア、視覚を要素をまとめて、分かりやすく書かれている。	<input type="checkbox"/>
	必要情報(背景、問題、目的、自分なりのアイデア、視覚)が書かれている。	<input type="checkbox"/>
	ポイントから必要な内容を抜き取れる。	<input type="checkbox"/>
	ポイントから必要な内容を抜き取れない。または1つのみである。最後に記入	<input type="checkbox"/>
話し方について	原稿を工夫して読ませることができる。(読み手、ジョークを交えたり、ジェスチャーの活用や手振りなど)	<input type="checkbox"/>
	笑顔で話せることができる。	<input type="checkbox"/>
	内容を深く説明できている。	<input type="checkbox"/>
	がっかりしていないことも察知できている。	<input type="checkbox"/>
	レベル2(レベル2でも1でもない。最後に記入)	<input type="checkbox"/>
	相手の目を見ることができている。	<input type="checkbox"/>
	ジェスチャーなど手振りも活用できている。	<input type="checkbox"/>
ポスターを指しながら話せることができる。	<input type="checkbox"/>	
原稿を見ながらしゃべることができる。	<input type="checkbox"/>	
レベル1(レベル2のものに比べて応じていない。または1つのみである。最後に記入)	<input type="checkbox"/>	
発表内容について	テーマ(多文化共生)に関して、調べたり考えたりの内容を適切に活用できている。	<input type="checkbox"/>
	正確な考えの異なる複数の視点をもとに内容(問題と回答)が考えられている。	<input type="checkbox"/>
	真摯な気持ちでシラバスにあるまじき意見をいれることができる。	<input type="checkbox"/>
	幅広い意見や視点を理解し、分かりやすく説明できている。	<input type="checkbox"/>
	レベル2(レベル2でも1でもない。最後に記入)	<input type="checkbox"/>
	テーマ(多文化共生)に関して、はじめ・中・おわりの形を踏んで内容が構築できている。	<input type="checkbox"/>
	正確な視点をもとに内容が考えられている。	<input type="checkbox"/>
自分なりに考えたことのあるまじき意見もいれることができる。	<input type="checkbox"/>	
幅広い意見や視点を理解し、分かりやすく説明できている。	<input type="checkbox"/>	
レベル1(レベル2のものに比べて応じていない。または1つのみである。最後に記入)	<input type="checkbox"/>	



# 6年生 探究学習の歩み

学習成果をポスターセッションで発表



# 6年生 探究学習の歩み

探究学習を振り返り、本質的な問いを考える

課題設定について

課題設定	情報収集	分析	発表
...	...	...	...

とにかく最初は、自分の興味・関心を見つけよう!!

1. 自分の興味・関心とテーマに合ったものをさがそう!! (多文化共生 x ヴェーゴ)

2. ポイントを調べる時、すべての情報をほじかない。

最終まで、あきらめずにがんばれ!!

探究学習について 探究学習シート

課題設定

情報収集

分析

発表

今回のテーマは、自分の興味・関心 x 多文化共生

調べるときは、自分の興味関心+空気で検索する!!! ののどつり!!

著作権や引用を書き忘れないように気をつけよう!

ステップ1 | ファイナルステップ

小論文を書くときは文末に気をつけて書こう! そして初めで中終わりで書こう!

ポスターは絵や図を多めに使おう! 文などは小論文の方で書けるから、見ている人が目を引くようなインパクトのある印象的なポスターの仕様!

小論文ができたなら、親か友達に聞いてもらって改善した方がいいところを探そう

全部終われば.. 完成! おめでとう

問い「多文化共生を実現するために大切なことは？」

# 6年生 探究学習の歩み



11月17日



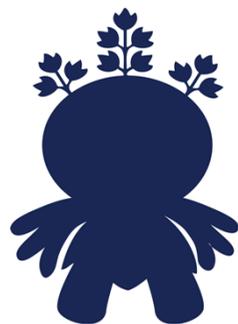
多文化共生を実現するために大切なことは？  
互いの文化を理解し合うことが大切だ  
だと思います。理由はまず“ここからは  
はじめないとほじまらない気がするから”  
②自分にできる事は？  
最低限の言語が理解し合うことだから  
今後自分でもできると思う  
具体的な例  
外国の方が日本語を話してくれれば…  
タマが

3月9日

多文化共生を実現するために大切なことは、日本とは違う異文化を理解することや、外国語を理解することだと思います。日本はこの先、外国人の移住者が増えると予測されており、そのためにも外国語を理解するのが大事だと思います。また、日本とは違う異文化を理解することも大事だと思います。例としては、アメリカのチップ文化などで、外国の当たり前ではなく日本のあたり前を教えてあげるというのも大切だと思います。今後、僕はこの先の未来を見据えて英語の勉強に励んでいきたいです。

今後の課題

- ・ 体験活動を増やす、深める
- ・ 社会課題と子どもをつなぎ方
- ・ 系統的な探究学習



最後までお聞きいただきまして、  
ありがとうございます。